

.....

館園名 : 足利市立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年04月01日

所在地

- ・ 〒326-0814 栃木県足利市通2-14-7

公式サイト

- ・ <http://www.watv.ne.jp/~ashi-bi>

設立主体

- ・ 足利市

運営主体

- ・ (財)足利市みどりと文化・スポーツ財団

設立目的

- ・ 地域ゆかりの作家の作品の収集・展示を行うとともに、国内外の作家の作品を企画展として紹介し、市民の知識および教養の向上を図るとともに、文化の高いまちづくりと文化の振興に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 足利市出身の川島理一郎の作品および彼の収集した版画コレクション、その他地域ゆかりの作家の作品、日本の現代美術作品（寄託）、中国古陶磁（寄託）などを収蔵。

活動概要

- ・ 常設展（テーマ展）、企画展を開催。常設展（テーマ展）は、所蔵・寄託・借用品による小企画展。企画展は、地元から国際的なものまで時代を問わず紹介。

延床面積

- ・ 3,729 m²

全職員数

- ・ 11名

年間運営費

- ・ 110,321千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 約2,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1999年2月、開館五周年を記念して開催された「ロダン展」において、視覚障害者を対象に「手による鑑賞」プログラムが実施された際、学芸員だけでは十分な対応は無理であろうという判断から、募集にふみきった。
- ・ 足利市声のボランティアの会から20余名、市内の福祉専門学校の学生30余名など、71名が集まった。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 71名（1999年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸員 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①介助、②解説。

活動その他

- ・ 当初、学芸員からの緊急電話で集合していたが、日を追うごとに来館者が増えたため、土日だけは当番制とした。
- ・ 展覧会出品作品設置の前後に、研修を2回実施。
- ・ 2回目には、実際に障害をもつ人が参加して、「障害者とその介助とは」という理念的なことから、実際にどのくらいまで介助が必要かといった実践的なことまで学習。
- ・ 福祉にかかわる事業のための募集だけあって、バリアフリー展覧会の企画に賛同し、活動内容に対して意識の高い人が多い。
- ・ 解説による鑑賞も可能ではないか、といった積極的な意見も出ている。
- ・ 何をどう伝えるか、という点がまだ十分突き詰められていない。
- ・ 解説や誘導するときの声が、他の来館者の邪魔になっているのではないか。
- ・ 美術に興味のない人を、いかに楽しませるかが課題。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

.....

館園名 : 宇都宮美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1997年03月23日

所在地

- ・ 〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077

公式サイト

- ・ <http://u-more.jp>

設立主体

- ・ 宇都宮市

運営主体

- ・ 財団法人うつのみや文化の森

設立目的

- ・ 市制100周年を記念して、うつのみや文化の森公園の中に設置。

展示概要

- ・ マグリット、シャガール、カンディンスキーなど海外の作家の作品35点、日本の近現代美術440点、創作版画110点、ジョルジュ・ビゴー・コレクション297点、宇都宮にゆかりのある物故・現役作家の作品80点、野外彫刻3点、ポスター・家具調度などのデザイン作品が1,935点。

活動概要

- ・ ギャラリートーク、絵本朗読会、コンサート、ワークショップなどを開催。

延床面積

- ・ 9,388㎡

全職員数

- ・ 42名

年間運営費

- ・ 536,531,657円(2003年度)

総資料点数

- ・ 2,900点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：アートの森

活動目的・経緯

- ・ 開館時から、美術館振興会（会員数 439 名）が、友の会とボランティアの会（約 58 名。うち 23 名が教育部に所属）が一つになった形で活動を開始。
- ・ 1999 年 4 月、教育部が、研修のため他の部より 2 年遅れて活動開始。常設展の作品解説をスタート。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 58 名（2004 年）
- ・ 男性：3 名、女性：55 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 53 歳：男性 55 歳、女性 53 歳（2004 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課・管理課 担当人数：常勤 2 名・その他（非常勤）1 名 計 3 名

活動の種類

- ・ ①教育部、②事業部、③広報部、④美術発見部。

活動その他

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 第 3 水曜日に、定例運営会議を開催。
- ・ 広報紙「アートの森」、美術館振興会のHPで広報。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.kanri@u-moa.jp>

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①教育部

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 23 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展ギャラリートークでの作品解説 (1 回 1 名)。
- ・ 企画展ギャラリートークでの作品解説 (1 回 1 名)。
- ・ 目の不自由な方のための音声ガイドの作成。
- ・ 学校団体プログラムでのガイド役の担当。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室、机、椅子、ラック等 (4 つの部で共有)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 2 ヶ月分のシフトを決定し、定例運営会議で他の部に報告。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 第 1 金曜日に、打ち合わせをする。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 第 1 期 1999 年、第 2 期 2003 年。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 常設展ギャラリートークは、展示替えごとに学芸員による研修を受講。
- ・ 企画展ギャラリートークは、解説にあたる会員のみ、担当学芸員により、ボイストレーニングも含めて研修を受講。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 相手によって柔軟に対応し、作品に親しめるように工夫して解説している。
- ・ 市民の意見が直接耳に入ってくるので、市民の要望を率直に館側に伝えて、館の立場も考慮しながら対応策と一緒に考えてくれる貴重な人材である。

◇課題と展望

- ・ 展示作品についての自己学習に努めたい。
- ・ 話し方の勉強会を行いたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②事業部

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 10名（2004年）

◇活動内容

- ・ 初夏と秋の美術館めぐりの開催。
- ・ 美術講座の開催。
- ・ 年末懇親会・チャリティーオークションの開催。

◇活動日

- ・ 事業日の前に数回活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室、机、椅子、ラック等（4つの部で共有）

◇運営（シフト 等）

- ・ 事業の開催時に必要に応じて全員集合し、定例運営会議で他の部に報告。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 第2水曜日に、打ち合わせをする。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報誌「アートの森」や美術館振興会のホームページに掲載する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ いろいろな事業を企画し、振興会員が美術に親しめるような環境づくりに貢献している。

◇課題と展望

- ・ 美術講座にも力を入れたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③広報部

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 広報紙「アートの森」を発行 (年 2 回)。

◇活動日

- ・ 発行の前に、5～6 回集合する。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室、机、椅子、ラック等 (4 つの部で共有)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 作業の進捗状況について、定例運営会議で他の部に報告。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 活動日に、事務打ち合わせをする。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 広報誌「アートの森」や美術館振興会のホームページに掲載する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 広報紙「アートの森」や美術館振興会のHPに館の情報を掲載することで、振興会以外の来館者にも、情報を提供している。

◇課題と展望

- ・ 広報紙「アートの森」の内容の充実を図りたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ④美術発見部

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 13 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 町のギャラリーや画廊、個人で絵画を集めているカフェなどの情報を収集し、美術案内マップを作成する。

◇活動日

- ・ 打ち合わせ日に決定。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室、机、椅子、ラック等 (4つの部で共有)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 広報誌「アートの森」の進捗状況について、毎月第3水曜日に開催する定例運営会議で他の部に報告する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 第4土曜日に、打ち合わせをする。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 広報誌「アートの森」や美術館振興会のホームページに掲載する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 職員だけでは収集しきれない細かな情報まで緻密に収集されている。美術案内マップの完成によって、今まで関心のなかった層にも美術に対する関心を深めて頂くことが期待される。

◇課題と展望

- ・ 充実した内容の美術案内マップを作成し、市民に配布したい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 小山市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年03月13日

所在地

- ・ 〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7

公式サイト

- ・ <http://www5.city.oyama.tochigi.jp/hakubutu/>

設立主体

- ・ 小山市

運営主体

- ・ 小山市

設立目的

- ・ 失われてゆく郷土の貴重な文化遺産を永く後世に伝え保存するとともに、これらを広く市民に公開することを目的として建設された。

展示概要

- ・ 人文系資料153,000点、自然資料2,000点を収蔵。
- ・ 常設展示は、「小山の文化のあゆみ」をテーマとする。

活動概要

- ・ 年1回県立博物館移動展、年2回企画展を開催。
- ・ 各種の体験学習や講座を実施。
- ・ 博物館報、研究紀要を出版。

延床面積

- ・ 1,907.79㎡

全職員数

- ・ 12人

年間運営費

- ・ 69,512,271円(2003年度)

総資料点数

- ・ 155,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：小山市立博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2002年6月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 15名（2004年）
- ・ 男性：10名、女性：5名（2004年）
- ・ 平均年齢 50.5歳：男性60歳、女性41歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：業務係 担当人数：常勤1名・その他（ ）名

活動の種類

- ・ ①常設展示の案内、②館主催の事業の補助。

活動その他

- ・ 常設展示案内は、日曜日に実施。
- ・ 活動内容や範囲については、館とボランティアが話し合っている。
- ・ ボランティアに関する予算は計上していない。
- ・ 備品は市からの支給による。
- ・ ボランティア室は設けられないため、体験学習室や視聴覚室にて対応している。
- ・ 毎月第1土曜日に、定期勉強会を開催。
- ・ 不定期に広報紙で募集。15名が、理想の人数。
- ・ 資格：歴史または博物館の活動に興味がある人。
- ・ 2004年12月に、第2期生の募集を広報で行い、9名の登録があった。
- ・ 定年制、任期制なし（毎年更新）。
- ・ 館が研修を実施。講座などは行っていないが、勉強会の際にボランティアの質問に答えている。館主催の講演会・講座に参加する。
- ・ ボランティアの団体保険に加入。
- ・ 館側が評価するのではなく、あくまでも活動者の自己評価を尊重する立場から、評価制度の採用は考えていない。
- ・ ボランティアの自主的な事業の企画立案へのバックアップの方法と、その運営について検討している。
- ・ 地域の特徴が感じられるような活動を目指している。
- ・ 館外組織との連携について、将来検討していきたい。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①常設展示の案内

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展示案内を行う。

◇活動日

- ・ 日曜日 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 毎月 4 人のローテーションで、1 日 1 人で解説を行う。第 2 期生が研修後にローテーションに加わる予定。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月第 1 土曜日に、定期勉強会を開催。
- ・ 不定期ではあるが、館がボランティア活動をしていく上で館外での研修会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員による事前研修 (養成講座：ボランティア活動にあたってのマナーなど)。
- ・ 常設展示案内にともなう研修 (常設展示を案内するにあたっての基礎知識)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 第 2 期生が展示案内を出来るようになるまでは、案内のサービスを提供出来ないことがあるため、市民に広報することができない。
- ・ 地域の特徴を案内に盛り込むための検討ができていない。
- ・ 1 期生を中心に組織化が提言されているが、いかに活動者に負担がかからないかたちで組織づくりをするか。

◇その他

・

活動個別シート ②館主催の事業の補助

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館主催事業 (わらぞうりをつくろう・編布をつくろう) において、講師の補助を行う。

◇活動日

- ・ 不定期 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事業の案内を定期勉強会などで紹介し、事業の準備や当日参加できる活動者に協力を依頼しているため、シフトはない。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月第 1 土曜日に、定期勉強会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員による事前研修 (養成講座: ボランティア活動にあたってのマナーなど)。
- ・ 事業補助にともなう研修 (補助をするにあたっての段取りや対応の仕方)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 館内外での活動 (常設展示のガイドブック作成、博物館周辺の環境美化、考古資料の整理など) を検討している。今後は、館主催事業の補助といった枠にとらわれない考え方が必要になってくる (ミュージアムサポーター等による位置づけ)。

◇その他

・

.....

館園名 : 鹿沼市立川上澄生美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1992年09月08日

所在地

・〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町 287 番地 14

公式サイト

・<http://ww.city.kanuma.tochigi.jp/>

設立主体

・鹿沼市

運営主体

・鹿沼市

設立目的

・木のまち鹿沼にふさわしい木版画の詩人・川上澄生の作品を収蔵し、文化の拠点として開館した。

展示概要

- ・収蔵品を主とした年2回の展示。
- ・年に数回の1階ホールでの小展示。

活動概要

- ・川上澄生作品を主に、他の木版画家の作品も展示。
- ・木版画の公募展、小中学生の版画大賞展、ガラス絵講座などを実施。
- ・図録を発行。

延床面積

・497.62 m²

全職員数（常勤職員）

・4名（2005年1月現在）

年間運営費

・24,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約2000点（2005年1月現在）

施設その他

・展示室1、展示に使用可能なホール1、収蔵庫。
事務室、ミーティングルーム。

2. ボランティア活動 名称：川上澄生美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 地域を上げて美術館の事業を活性化するため。
現在養成中の段階。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 9名（2005年1月現在）
- ・ 男性：2名、女性：7名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①ボランティア養成

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 9 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ ボランティア養成のための研修を行う。

◇活動日

- ・ 毎月第 2 土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 20 万円。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報で募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 川上澄生について、美術館の事業について、木版画についての知識を深める。
- ・ 他の美術館ボランティア活動を視察。
- ・ 人前で話すときの心構えなど抗議。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 来年度から展示室監視、音声ガイド制作、イベント時のアシスタントを行う。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 葛生町立吉澤記念美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2002年06月01日

所在地

・ 〒327-0501 栃木県安蘇郡葛生町中央東 1-14-30

公式サイト

・ <http://museum.town.kuzuu.tochigi.jp/>

設立主体

・ 葛生町

運営主体

・ 葛生町

設立目的

・ 美術に関する町民の知識と教養の向上を図り、もって地域社会の文化振興に寄与することを目的として開館。

展示概要

・ 地元旧家である吉澤家から、同家が五代約 200 年にわたって収集した吉澤コレクション（2000 年に町に寄贈。近世～現代の絵画、近現代の陶工芸など 515 点）を収蔵。

活動概要

- ・ 寄贈された吉澤コレクションを中心に、年 6～7 回の企画展を開催。
- ・ 隣接する地域交流センターにおいて、地域の文化サークル（絵画・写真など）の展示、展覧会関連の展示を行なう。
- ・ 展覧会に関連する講演会、フレスコ画体験教室などのワークショップ、学芸員による作品鑑賞会、ミュージアムコンサートなどを実施。

延床面積

・ 1,032.46 m²（美術館に隣接する地域交流センターを含む）

全職員数（常勤職員）

・ 3 名（2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 516 点（2005 年 1 月現在）

施設その他

- ・ 2005 年 2 月 28 日に佐野市、田沼町、葛生町が合併し、館名が「佐野市立吉澤記念美術館」に変更になる。
- ・ 美術館建物は吉澤氏の寄贈（2002 年 3 月）。

2. ボランティア活動 名称：葛生町吉澤記念美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2001 年秋、美術館開館に先立って、美術館運営の補助（特に来館者に対する作品解説）及び地域における生涯学習活動の促進を目的として募集を開始。
- 2002 年冬より月 2 回程度の研修会および既に導入している館の視察研修を開催。
- 2002 年 6 月、美術館の開館とともに発足。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 42 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：10 名、女性：32 名
- ・ 平均年齢 59 歳：男性 71 歳、女性 55 歳

ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：特になし
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示室内の看視。
- ・ 館内の案内。
- ・ 展示作品の解説。
- ・ 館内清掃（展示ケース拭きなど）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。代表世話人として 5 名を選出。
ボランティア代表 1 名を運営協議会委員に委嘱。

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ <http://museum.town.kuzuu.jp/map/volunteer.html>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①葛生町立吉澤記念美術館

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・42名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・展示室内の看視
- ・館内の案内
- ・作品解説

◇活動日

- ・美術館開館日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・必要となる事務用品、備品、図書等の貸与。

◇運営（シフト 等）

- ・二交代制。 9:30～13:00 / 13:00～17:00

◇交流（情報、組織 等）

- ・事務局から借る同希望日調査シートを送付。おしらせなどを同封することもある。活動日誌をつくり、連絡用にしている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・随時募集（チラシ、HPなど）。選考は行っていない。任期なし、定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・展示替えごとに学習会を開催（同時に活動の反省会も）年6～7回。展示のコンセプトや作品の解説を学芸員が行う。年1回視察研修を開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険加入。

◇評価

- ・発足からまもなく3年になるが、頑張ってくれていると思う。定着率もよいと思う。

◇課題と展望

- ・館主催の研修等のみでなくボランティアどうしの自主的な活動に期待したい（忘年会などの開催、学習会の要望など）。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 佐野市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1983年11月18日

所在地

- ・ 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町 2047

公式サイト

- ・ <http://www.city.sano.tochigi.jp>

設立主体

- ・ 佐野市

運営主体

- ・ 佐野市

設立目的

- ・ 佐野市域の考古・歴史・民俗等に関する資料を収集・保管・研究及び展示して市民の利用に供し、市民文化の向上に寄与するとともに、佐野市の歴史と理解を深め、愛郷心の育成を図ることを目的とする。

展示概要

- ・ 田中正造関係資料を中心に、原始・古代から近現代に至る佐野の歩みを、考古・歴史・民俗等の資料によって展示している。

活動概要

- ・ 企画展（春・秋、有料）。
- ・ 小展示会（7～8月…収蔵資料展、3月…講座受講者作品展、無料）。
- ・ 各種講座及び見学会。
- ・ 学校利用推進事業…学校の授業と連携し、博物館資料や施設を利用した活動。

延床面積

- ・ 2,154 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 約11,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 32145点（2004年03月現在）

施設その他

- ・ 平成17年03月の合併（1市2町）に向け、一部展示替を計画している。

2. ボランティア活動 名称：郷土博物館展示解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 栃木県婦人教育推進連絡協議会（当時）佐野支部会員と佐野市報掲載の公募に応募した女性たちにより、「郷土博物館展示解説ボランティア」が結成され、平成2年04月から活動を開始した。以来小学4年、6年（平成13年度までは小学3年も）を対象とし社会科学習の支援を目的とした学校利用推進事業において活動している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年12月現在）
- ・ 男性：0名、女性：20名
- ・ 平均年齢70歳：男性一歳、女性70歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：学芸係
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 20名のボランティアの中で代表が1名おり、ボランティア全体を取りまとめている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>
- なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1990年

◇活動人数

- ・ 20名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 市内小学4年、6年を対象とし、社会科学習の支援を目的とした展示解説及び体験学習補助。
小学4年…「きょう土につくした人びと」の単元で、田中正造と田村耕一に関する展示解説。
「くらしのうつりかわり」の単元で、民具体験学習補助。
小学6年…「原始・古代の歴史」に関する展示解説。

◇活動日

- ・ 小学4年 10月～11月。
小学6年 5月～6月。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア控室を用意している。
・ 企画展図録を配布している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 2班に分かれ、一回3名程度を割当てで活動する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 事前研修会の他 3月に懇談会を開催し、反省や情報交換を行う。また次年度のシフトを決める。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 任期制や定年制はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修会（4月、9月）。
田中正造に学ぶ講座（講演会、史跡めぐり）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費、食事等は支給しない。
ボランティア保険には個人負担で加入している。

◇評価

- ・ 特にないが今年度、長年の活動が認められ、佐野市民憲章賞（教育・文化功労）を受賞した。

◇課題と展望

- ・ メンバーの増員が必要。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 栃木県子ども総合科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1988年05月03日

所在地

- ・ 〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町567

公式サイト

- ・ <http://www.tsm.utsunomiya.tochigi.jp/>

設立主体

- ・ 栃木県

運営主体

- ・ 財団法人とちぎ青少年こども財団

設立目的

- ・ 21世紀を担う子どもたちの科学する心や態度を培い、心豊かで創造性に富んだ社会人として成長することを願って設置された科学および科学技術の普及教育施設。
- ・ 健全な遊びを通して心身ともに健全な子どもの育成を図るための児童厚生施設としての機能も併せ持つ総合的な施設。

展示概要

- ・ 展示場を8部門に分け、参加型展示に主眼をおいた可動装置や実験装置など、科学に関する約230点の展示物を展示。
- ・ 日本列島ゾーン、太陽系オリエンテーリング、H-IIロケット、風力発電システムなど屋外展示もある。
- ・ 変わり自転車、ミニ機関車（共に有料）に乗れる乗り物広場、自然豊かな風の広場、屋外遊具のある冒険広場等もある。

活動概要

- ・ サイエンスショー、各種教室、星を見る会、プラネタリウムコンサート、遊びのワークショップ、児童館フェアなどを開催。

延床面積

- ・ 10,000 m² (敷地面積 177,000 m²)

全職員数

- ・ 52人

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 239点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：ボランティアバンク

活動目的・経緯

- ・ 館が開館した 1988 年、県内の天文同好会のメンバーが指導員となり、館の行事を応援する。
- ・ 1992 年、天文同好会を母体として、ボランティアバンクが設置される。適切な運営を推進し、開かれた科学館としての活動への協力を得ることを目的とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 59 名（2005 年 4 月）
- ・ 男性： 25 名、女性： 34 名（2005 年）
- ・ 平均年齢 34.5 歳：男性 35.5 歳、女性 33.6 歳（2005 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：展示天文課 担当人数：常勤 1 名・その他（ ） 名
- ・ 部局：育成課 担当人数：常勤 2 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①天文ボランティア、②折り紙ボランティア、③遊びのボランティア

活動その他

- ・ 登録は、専門分野ごとに行う。
- ・ 天文ボランティアは展示天文課、折り紙ボランティアと遊びのボランティアは育成課が取りまとめを行っている。
- ・ 登録は一年間。ボランティア保険に加入している。（取りまとめは科学館）

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ 科学館のHPに一部掲載。

館外組織（NPO等）との連携

- ・ NPO等ではないが、栃木県児童館連絡協議会と栃木県地域活動連絡協議会の事務局がある。

活動個別シート ①天文ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 18 名 (2005 年 4 月)

◇活動内容

- ・ 「星を見る会」の観察指導。
- ・ 天文台公開時の望遠鏡の説明、観察指導。

◇活動日

- ・ 年間 12 回 (「星を見る会」開催日)

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 特になし

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各会ごと 4 人ずつ担当者を職員がスケジューリング。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア会議 (年 1 回) を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 科学および科学技術に関する知識や経験を有する人を対象とする。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア講習会、天体望遠鏡操作法などの講義を受ける。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (館側負担)。
- ・ 天体観望会は、午後 7 時から 9 時という時間帯であるため、夕食が提供される。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

・

◇その他

活動個別シート ②折り紙ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2005 年 4 月)

◇活動内容

- ・ 「おりがみであそぼう」の企画、運営。

◇活動日

- ・ 毎月第 3 日曜日、児童館フェア (10 月)

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動に必要な物品 (消耗品等) は館側で用意。年間 53,000 円を計上。
- ・ 館の設備、用具を使用する場合は、担当職員の許可を得て使用。
- ・ 館の会議室を活動日に限り、準備打ち合わせの場所として使用。
- ・ 活動時、着用するユニフォーム (エプロン) を貸与。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 基本的に活動日に参加できることが条件。やむを得ず欠席の場合、館に連絡。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 活動日に反省会を実施。
- ・ ボランティア研修会 (理論、実技) を年 2 回実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 2 月中旬頃から、館の催し案内等に募集要項を掲載。
- ・ 募集チラシを近隣の市町、図書館、児童館、公民館、大学に送付。
- ・ 条件①18 才以上 ②年間を通して参加 ③子どもとの関わりを大切にされる方 ④事前に活動を見学し、研修会 (5 月) に参加
- ・ 登録までの流れ … 電話→見学→面接→研修→登録→活動
- ・ 定年制なし。任期 1 年。年度末に担当者との面談を行う。(更新あり)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回 (5 月と 9 月)。理論研修は遊びのボランティアと合同で実施。
- ・ 理論研修「科学館概要及び育成課概要説明」「育成課ボランティアについて」…館職員
「ボランティアの役割と意義～子どもを育てるボランティア活動」
…栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所ふれあい学習課 柳澤 邦夫
- ・ 実技研修「基本の折り方 (仮題)」…外部講師 (未定)

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。(館側負担)
- ・ 研修会の時には昼食を用意。報酬、交通費等の支給はない。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 研修会を増やして、各ボランティアのスキルアップを図り、来館者そして地域に還元していきたい。ボランティア同士の交流を図る企画を行っていきたい。

◇その他

- ・ 設立当初は、館の事業のサポートであったが、本来の「ボランティア」の意味を見つめ直し、ボランティアの自主事業となった。
- ・ 時間的に融通のきく主婦層が多いので、活動への参加率が高い。

活動個別シート ③遊びのボランティア

◇活動開始年

- ・ 1995年

◇活動人数

- ・ 26名(2005年4月)

◇活動内容

- ・ 「ASOBOタイム」の企画、運営。

◇活動日

- ・ 毎月第2日曜日、児童館フェア(10月)

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 活動に必要な物品(消耗品等)は館側で用意。年間56,000円を計上。
- ・ 館の設備、用具を使用する場合は、担当職員の許可を得て使用。
- ・ 館の屋外管理棟を活動日に限り、準備打ち合わせの場所として使用。
- ・ 活動時、着用するユニフォーム(Tシャツ、ジャンパー)を貸与。

◇運営(シフト等)

- ・ 基本的に活動日に参加できることが条件。やむを得ず欠席の場合、館に連絡。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 活動日に反省会を実施。
- ・ ボランティア研修会(理論、実技)を年2回実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年2月中旬頃から、館の催し案内等に募集要項を掲載。
- ・ 募集チラシを近隣の市町、図書館、児童館、公民館、大学に送付。
- ・ 条件①高校生以上 ②年間を通して参加 ③子どもとの関わりを大切にされる方 ④事前に活動を見学し、研修会(5月)に参加
- ・ 登録までの流れ … 電話→見学→面接→研修→登録→活動
- ・ 定年制なし。任期1年。年度末に担当者との面談を行う。(更新あり)

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 年2回(5月と9月)。理論研修は折り紙ボランティアと合同で実施。
- ・ 理論研修「科学館概要及び育成課概要説明」「育成課ボランティアについて」…館職員
「ボランティアの役割と意義～子どもを育てるボランティア活動」
…栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所ふれあい学習課 柳澤 邦夫
- ・ 実技研修「遊びのレパトリーを増やそう！」…外部講師(未定)

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入。(館側負担)
- ・ 研修会の時には昼食を用意。報酬、交通費等の支給はない。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 研修会を増やして各ボランティアのスキルアップを図り来館者そして地域に還元していきたい。

◇その他

- ・ 館のアルバイトだったメンバーが、館の事業のサポート(無償)に来てくれるようになり、95年からはボランティアの自主事業となった。
- ・ 来館者として遊びに来ていた子が、高校生や大学生になって登録するケースが多い。

- 学生が多いため、進学や就職に伴いやむを得ず辞めていくケースが多い。また、テストや実習期間の参加率が低い。

.....

館園名 : 栃木県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1972年11月03日

所在地

- ・ 〒320-0043 栃木県宇都宮市桜4-2-7

公式サイト

- ・ <http://www.art.pref.tochigi.jp/>

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 主体性のある企画運営により、美的な環境における精神の解放を目指す。

展示概要

- ・ 日本画 305 点（谷文晁、高久靄厓、田崎草雲ら）、油彩画等 586 点（ターナー、コンスタブル、コローら）、水彩・素描 532 点、版画 4137 点（カロ、ドレ、ドーミエら）、彫刻（立体・オブジェを含む）138 点（ブールデル、清水多嘉示ら）、工芸 559 点（濱田庄司、バーナー・リーチら）、写真 76 点、書 19 点（豊道春海、葎田真斎）、その他（版木・二次資料等）1735 点、総計 8087 点。
- ・ 常設展示では、栃木県の近現代美術とその背景としての国内外の近代美術を展示。①明治以降の栃木県関係作家を主に、日本画・工芸・書を1階に展示。②19世紀イギリスの風景画を導入部に、フランスの近代美術、明治以降の栃木県関係作家および日本と世界を代表する作家の近現代の油彩画、彫刻を展示。③スライディング・パネル方式により、川上澄生、古川龍生、深沢史朗、斎藤清の版画を多数展示。④屋外展示場、中庭、ロビー空間に、国内外の彫刻作品を展示。

活動概要

- ・ 特別展および展覧会に関連する講演会、ギャラリートーク、コンサート、パフォーマンス、ワークショップなどを開催。

延床面積

- ・ 5,970 m²

全職員数

・

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 総計 8087 点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：栃木県立美術館友の会

活動目的・経緯

- ・ 2001年に、美術館普及活動支援を目的に開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 12名（2004年）
- ・ 男性： 2名、女性： 10名（2004年）
- ・ 平均年齢 :

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（非常勤） 1名

活動の種類

- ・ ①新聞切り抜きボランティア。

活動その他

- ・

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ なし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①新聞切り抜きボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 12名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 美術関係の新聞切り抜き・スクラップを行う。

◇活動日

- ・ 毎月第1・3水曜日（10：00～12：00）に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 適宜アドバイスをしている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 那須塩原市那須野が原博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2004 年 04 月 23 日

所在地

・ 〒329-2752 栃木県那須塩原市三島 5 丁目 1 番地

公式サイト

・ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/hakubutsukan/>

設立主体

・ 那須塩原市

運営主体

・ 那須塩原市

設立目的

・

展示概要

- ・ 「那須野が原の開拓と自然・文化のいとなみ」をテーマに歴史・民俗・考古・美術・自然の 5 つの分野から那須野が原を紹介する。
- ・ 企画展示室にてテーマに応じた企画展を開催。

活動概要

- ・ 企画展（特別展・テーマ展・美術展・県移動展）の開催。
- ・ 那須野が原セミナー、特別展講座、子ども体験教室、ビオトープ観察会、土器づくり教室、親子体験チャレンジなどを実施
- ・ 図録、研究紀要等の発行

延床面積

・ 2,039 m²

全職員数（常勤職員）

・ 4 名（2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 15,000 点（2005 年 1 月現在）

施設その他

・ 2004.3.31 をもって西那須野町郷土資料館は廃止しました。

2. ボランティア活動 名称：学校支援ボランティア「石ぐら会」、
那須野が原の自然調査会

活動目的・経緯

- ・ 学校支援ボランティア「石ぐら会」は、1982年4月に活動を開始。
- ・ 那須野が原の自然調査会は、1998年に那須野が原を中心とした地域の自然に親しみつつ、動植物の調査を実施し、那須野が原博物館の自然資料を収集するボランティア活動を行うことを目的に設立（設立当時の名称は自然に親しむ会）。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 41名（2004年 月現在）
- ・ 男性：26名、女性：15名
- ・ 平均年齢 62歳：男性64歳、女性60歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：学芸普及係
- ・ 担当人数：常勤職員3名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 「石ぐら会」では展示解説・体験学習を行う。
- ・ 那須野が原の自然調査会では動植物の収集・調査を行う。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

関連する出版物

- ・ 石ぐら会 20年の歩み
- ・ 那須野が原ガイドブック
- ・ 那須野が原歴史探訪
- ・ たよりの発行（那須野が原の自然調査会：年12回）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示解説・体験学習（石ぐら会）

◇活動開始年（西暦）

- ・1982年

◇活動人数

- ・22名（2004年 月現在）
- ・男性：10名、女性：12名 平均年齢 66.5歳：男性66歳、女性67歳

◇活動内容

- ・年間130校ほど来館する学校見学に対する展示解説、水運び・モッコかつぎなど、生活用具を使った体験学習を指導。ボランティア組織により運営。

◇活動日

- ・学校団体等の見学日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・団体活動室で定例会や庶務を行える（他団体と共同利用）。

◇運営（シフト 等）

- ・人数・内容に応じて、必要な人員が担当する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・毎月第2水曜日に定例会を実施。定例会の際、ボランティア相互で研修を実施。
- ・見学団体の担当を決め、学習会、情報交換を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・広報への掲載。募集は随時行っている。また、入門講座的なものを開催した際に、募集を行う。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・県内外視察研修。・入門講座（会員および職員）全5回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・全員ボランティア保険に加入。（会員負担）

◇評価

◇課題と展望

- ・新会員の獲得。
- ・案内内容の充実。

◇その他

- ・会員から会費を徴収。

活動個別シート 活動名：②動植物の収集、調査（那須野が原の自然調査会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 19 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：16 名、女性：3 名
- ・ 平均年齢 57.5 歳：男性 62 歳、女性 53 歳

◇活動内容

- ・ 動植物の収集、調査。
- ・ たよりの発行（月 1 回）。

◇活動日

- ・ 学校団体等の見学日に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

◇運営（シフト 等）

◇交流（情報、組織 等）

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

◇研修（種類、内容、講師 等）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

◇評価

◇課題と展望

◇その他

.....
館園名 : 馬頭町広重美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2000年11月03日

所在地

- ・ 〒324-0613 栃木県那須郡馬頭町馬頭 116-9

公式サイト

- ・ <http://www.hirosige.bato.tochigi.jp>

設立主体

- ・ 馬頭町

運営主体

- ・ 馬頭町

設立目的

- ・ 1997年2月に馬頭町に寄贈された故青木藤作氏のコレクションを公開する施設として設置。

展示概要

- ・ 青木コレクション（歌川広重の肉筆画、幕末明治期の浮世絵版画など）を軸に、年10回の展示替えを行っている。
- ・ 各展覧会にテーマを設け、浮世絵を中心とした分かり易い展示を心がけている。

活動概要

- ・ 企画展年10回（うち1回は特別展）。各展覧会で、講演会、ミュージアムトークを行っている。
- ・ 特別展の際に、図録を出版。
- ・ ミュージアムショップでは、オリジナル商品を販売。

延床面積

- ・ 1,962.43 m²

全職員数

- ・ 8名

年間運営費

- ・ 70,000千円（2004年度）

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：馬頭町広重美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 開館と同時に活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 45名（2004年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（2004年）
- ・ 平均年齢 約60歳：男性 歳、女性 歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：生涯学習課広重美術館 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内・誘導整理、②作品の監視、③障害者等の介助。

活動その他

- ・ ほぼ毎日活動。
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 活動費として、年間250,000円を計上。
- ・ 友の会のボランティア部として運営。
- ・ 曜日班に分かれて活動。
- ・ 必要に応じて総会を開催。
- ・ 打合せ会、懇親会を開催。
- ・ 随時募集。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 展示替えごとに、学芸員がボランティア対象の展示解説を行う。
- ・ ボランティア相互でも研修を実施。
- ・ 年1回、研修旅行を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 町外の方に、交通費を支給。
- ・ 1日活動する方には、昼食を提供。
- ・ 曜日によって参加人数に差があるのが問題点。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①案内・誘導整理

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館内の案内。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 活動費として、年間 250,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日班に分かれて活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 年 1 回、研修旅行を実施。
- ・ 必要に応じて総会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 通年募集。任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 町外の方に、交通費を支給。
- ・ 1 日活動する方には、昼食を提供。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 曜日によって参加人数に差がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ②作品の監視

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示室内の作品監視。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 活動費として、年間 250,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日班に分かれて活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 年 1 回、研修旅行を実施。
- ・ 必要に応じて総会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 通年募集。任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 町外の方に、交通費を支給。
- ・ 1 日活動する方には、昼食を提供。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 曜日によって参加人数に差がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ③障害者等の介助

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 障害者等の介助。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 活動費として、年間 250,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日班に分かれて活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 年 1 回、研修旅行を実施。
- ・ 必要に応じて総会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 通年募集。任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 町外の方に、交通費を支給。
- ・ 1 日活動する方には、昼食を提供。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 曜日によって参加人数に差がある。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 矢板武記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1998 年 08 月 01 日

所在地

・ 〒 329 - 2164 栃木県矢板市本町 15 番 3 号

公式サイト

・ <http://>

設立主体

・ 矢板市

運営主体

・ 矢板市教育委員会

設立目的

・ 栃木県を代表する実業家である矢板武の旧宅に、矢板家の資料を展示する。

展示概要

・ 矢板武・家の資料を収蔵。母屋、展示室等で資料を公開している。

活動概要

- ・ 施設の改修等を行いながら、生涯学習施設として公開している。
- ・ 団体等で説明要請があった場合は、市教育委員会生涯学習課職員が対応。

延床面積

・ 367 m² (母屋 319 m²、展示室 48 m²)

全職員数（常勤職員）

・ 0 名 (2004 年 4 月現在)

年間運営費

・ 4,818,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 9,000 点 (2004 年 4 月現在)

施設その他

- ・ 施設の老朽化が進んでいることから整備を進めている。特に 2004 年度は母屋屋根瓦の葺き替えと内堀の改修工事を実施中。
- ・ 記念館南西角が交差点で、この改良工事に伴い 2004 年度後半より 2005 年度前半に施設の長屋門等の移築等により休館となりました。

2. ボランティア活動 名称：矢板市文化財愛護協会奉仕活動

活動目的・経緯

・2001年、市内の文化財を保護・継承するために行政のみでは限界があるとの認識から地域の文化財は住民自らが守っていこうと、文化財愛護協会が奉仕活動をするようになった。当初は、清掃活動（記念館含む）であったが、矢板武記念館や矢板市立郷土資料館等の解説や文化財案内ボランティアも加えられてる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 60 名（ 2004 年 4 月現在）
- ・ 男性： 30 名、女性： 30 名
- ・ 平均年齢 70.5 歳：男性 73 歳、女性 68 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 4 月現在）

- ・ 部局名称： 矢板市教育委員会生涯学習課まなび担当
- ・ 担当人数：常勤職員 0 名・その他（ 非常勤 ） 2 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 文化財および周辺の清掃。
- ・ 文化財案内ボランティア。
- ・ 矢板武記念館解説ボランティア。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 活動は奉仕活動部が企画し、会員に呼びかけて実施している。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート① 活動名：矢板武記念館清掃活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 5 名（ 2004 年 3 月現在）

◇活動内容

- ・ 記念館内の除草や施設の清掃を行う。

◇活動日

- ・ 年二回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算の補助はなし。備品・ボランティア室もなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 年二回、代表者が活動内容を割り振り実施している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年二回会員に通知して募集する。人数は五名程度。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 傷害保険に加入のみ。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 高齢化により作業内容によっては負担になりつつある。
- ・ 清掃活動に限らず、運営等にも活動を広げるよう努力したい。

◇その他

- ・ ボランティアが常駐し、すべての来館者の要望に対応できると最良。

活動個別シート② 活動名：矢板武記念館解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 不定期（教育委員会の担当職員に都合がつかないとき）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 一名で一回約 40 分。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 事務局で指名し、依頼する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 自己研修のみ。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 管理業務と解説が出来るよう組織化できるとよい。

◇その他

- ・ なし。